

## 43 水神社

歴史的資産



### 【講評】

狛江は古くから多摩川の洪水に悩まされる一方で、農業用水として利用するといった恩恵も受け、共存をはかってきました。水の神様を祀る目的で建立されたこの水神社は、前回選定した伊豆美神社とともに、狛江の貴重な歴史的遺構といえます。狛江と多摩川の関係から水に関連する水神様をまちづくりにも活かしていければと考え、選定しました。

### 【推薦コメント】

○御祭神 水波能売神（水神）順正院宗可日久霊神（小泉次大夫大人）

この地は、寛平元年（889年）9月20日に六所宮（明治元年伊豆美神社と改称）が鎮座された所です。その後天文19年（1550年）多摩川の洪水により社地流失し、伊豆美神社は現在の地に遷座しました。この宮跡に多摩川の洪水を鎮める為、慶長2年（1597年）に水神社を創建し、その後小泉次大夫により六郷用水がつくられ、その偉業を讃え用水守護、土木建築の神として合祀されました。

明治22年（1889年）水神社を改造し、毎年例祭を行ってきました。昭和3年（1928年）には、小泉次大夫敬慕342年祭を齋行、伊豆美神社の末社として尊崇維持されてきました。

また、玉翠園という料亭がありし時は、屋形船などの出入口としてにぎわっていたそうです。今現在は六郷用水の取入口氏子万民の田畑を水で潤し、日照りから守り、作物の収穫に深く寄与した頃のおもかげを色濃く残しています。

○昔、伊豆美神社はこの近くにあったとか。

今も伊豆美神社の氏子がここを守っているとか。水の神様である。

受賞者：小町 守 さん  
 推薦者：小町 守 さん  
 石川 英夫 さん